

CVP-40-EVAL、CVP-40-DISTI、CVP-40-DART、CVP-41-EVAL、CVP-41-DIST-NFR、CVP-41-DART-NFR、CVP-70-EVAL、CVP-70-DIST-NFR と CVP-70-DART-NFR のライセンス問題のトラブルシューティング

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[CVP VoiceXML サーバに NFR が評価ライセンスを加えて下さい](#)

[CVP VoiceXML スタジオに NFR が評価ライセンスを加えて下さい](#)

[関連情報](#)

[はじめに](#)

CVP-40-EVAL を発注する顧客、CVP-40-DISTI、CVP-40-DART、CVP-41-EVAL、CVP-41-DIST-NFR、CVP-41-DART-NFR、CVP-70-EVAL、CVP-70-DIST-NFR および CVP-70-DART-NFR は [製品ライセンス登録](#) からライセンス キーの代わりに英数字ストリングを受け取ることができます。このドキュメントでは、ソフトウェアにライセンスを付与するため特殊な SKU に対して実行する必要がある追加の手順を説明します。

[前提条件](#)

[要件](#)

CVP-40-EVAL を、CVP-40-DISTI、CVP-40-DART、CVP-41-EVAL、CVP-41-DIST-NFR、CVP-41-DART-NFR、CVP-70-EVAL、CVP-70-DIST-NFR 発注しました、または CVP-70-DART-NFR は、[製品ライセンス登録](#) に行った、これらの形式の英数字キーのファイル受け取った Product Authorization Key (PAK) コードを受け取りました:

- CVP スタジオ 4.0
- CVP VXML サーバ 4.0

使用するコンポーネント

この資料に記載されている情報はこれらのコンポーネントに基づいています:

- Cisco カスタマ 音声門脈 (CVP) スタジオ 4.0、4.1、か 7.0 評価 (EVAL) は、およびないのため転売 (投げ矢、DISTI) だけ認可します
- Cisco カスタマ 音声門脈 (CVP) VoiceXML (VXML) サーバ 4.0、4.1、か 7.0 評価 (EVAL) は、およびないのため転売 (投げ矢、DISTI) だけ認可します

注: これは他のどの Cisco カスタマ 音声門脈 (CVP) スタジオ 4.0 または Cisco カスタマ 音声門脈 (CVP) VoiceXML (VXML) サーバ 4.0 SKUs にも適用しません。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

問題

CVP-40-EVAL、CVP-40-DISTI、CVP-40-DART、CVP-41-EVAL、CVP-41-DIST-NFR、CVP-41-DART-NFR、CVP-70-EVAL、CVP-70-DIST-NFR および CVP-70-DART-NFR を発注するとき、[製品ライセンス登録](#)からライセンスキーの代わりに 2 本の英数字コードを受け取ることができません。オペレーション、管理、管理およびプロビジョニング (ライセンスをインストールする OAM&P) パネルを使用するために試みればはたきません。

解決策

[製品ライセンス登録](#)からライセンスを受け取った後 CVP 4.0 の既知の問題が原因で、SKUs を認可するための追加手順に従う必要があります。

完全な本番および開発ライセンスとは違って、ないのため転売 (NFR) および評価 SKU ライセンスは[製品ライセンス登録](#)からのライセンスキーとして郵送されません。顧客はソフトウェアに入るために英数字 ID ナンバーを受け取ります。これらの SKU 型に関しては、異なるステップは踏む必要があります; それらは別の方式で CVP 両方 VoiceXML サーバおよび CVP VoiceXML スタジオに加えらる必要があります。

これらのセクションは英数字コードのソフトウェアをアクティブにするために必要である追加手順を記述します。

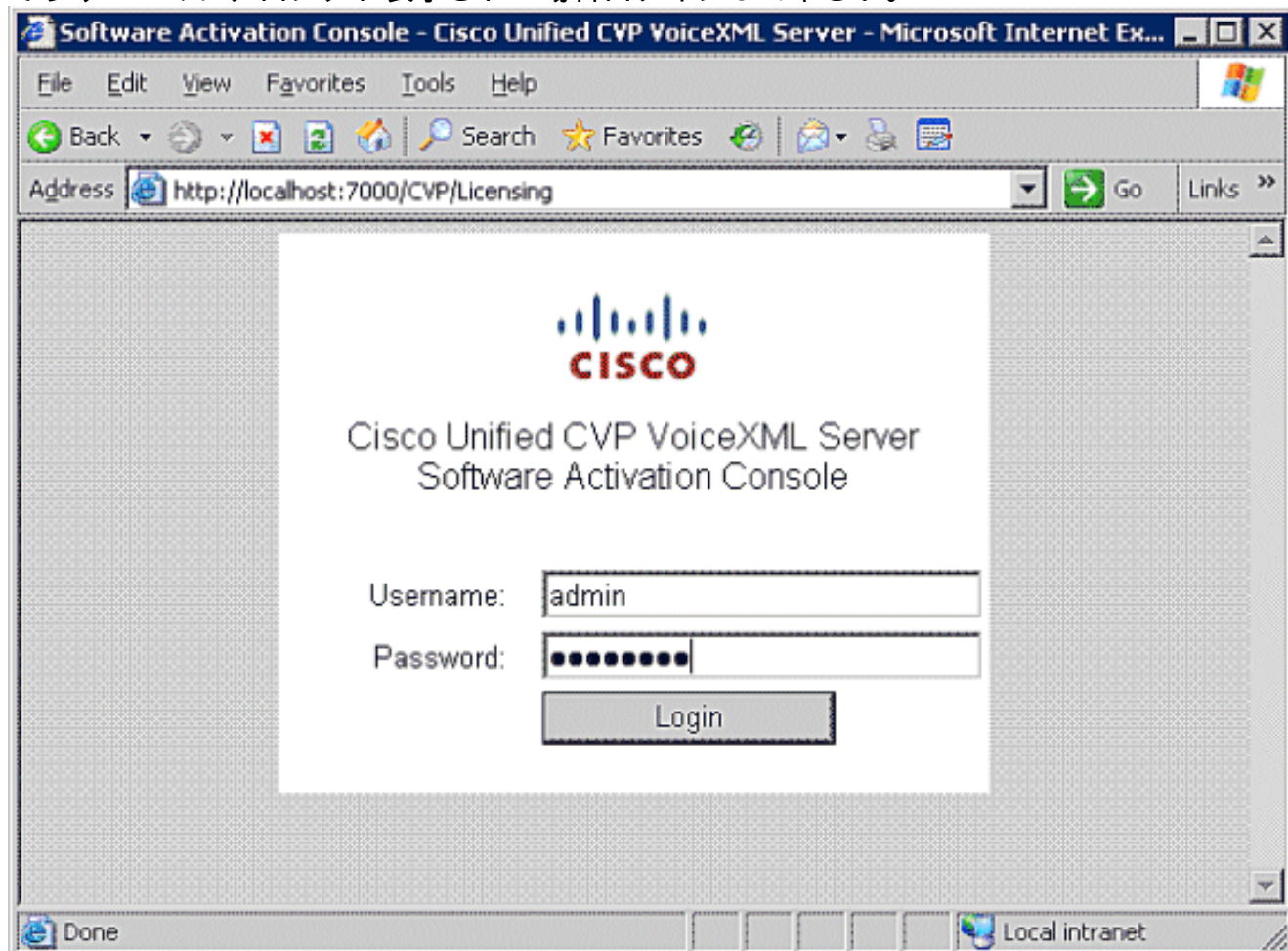
CVP VoiceXML サーバに NFR か評価ライセンスを加えて下さい

CVP VoiceXML サーバに NFR か評価ライセンスを加えるためにこのプロシージャを行って下さい:

1. Notepad のようなテキストエディタのライセンステキストファイルを、開いて下さい。
2. 形式 (7 文字のブロック、そして 5、5、および 7) のインストールキーをコピーして下さい

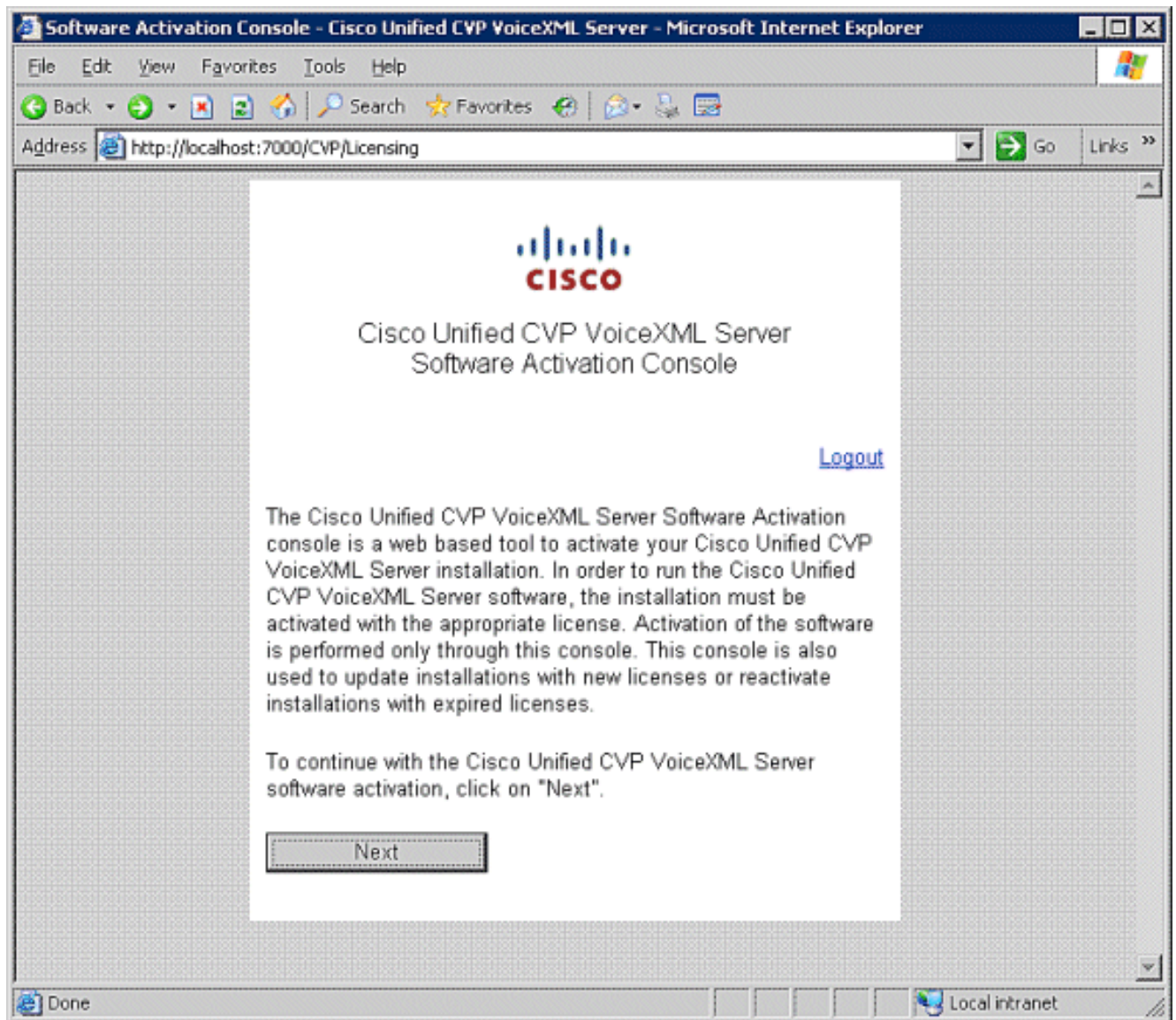
い; これは CVP VoiceXML サーバインストール キーの形式です。他の形式のキーは他の製品のためです。ライセンス テキストファイルは複数のインストール キーが含まれている場合があることに注目して下さい。

3. CVP VoiceXML サーバを時どちらかの開始するインストールされているまたはとき WebSphere のちょうど CVP VoiceXML サーバ Webアプリケーションを、たとえば、開始するアプリケーションサーバ開始して下さい。
4. Webブラウザでは、IP がアプリケーションサーバの IP アドレスである、ポートが受信するポートである URL <http://IP:PORT/CVP/Licensing> を参照すれば。
5. そうするためにプロンプト表示された場合ログインして下さい。

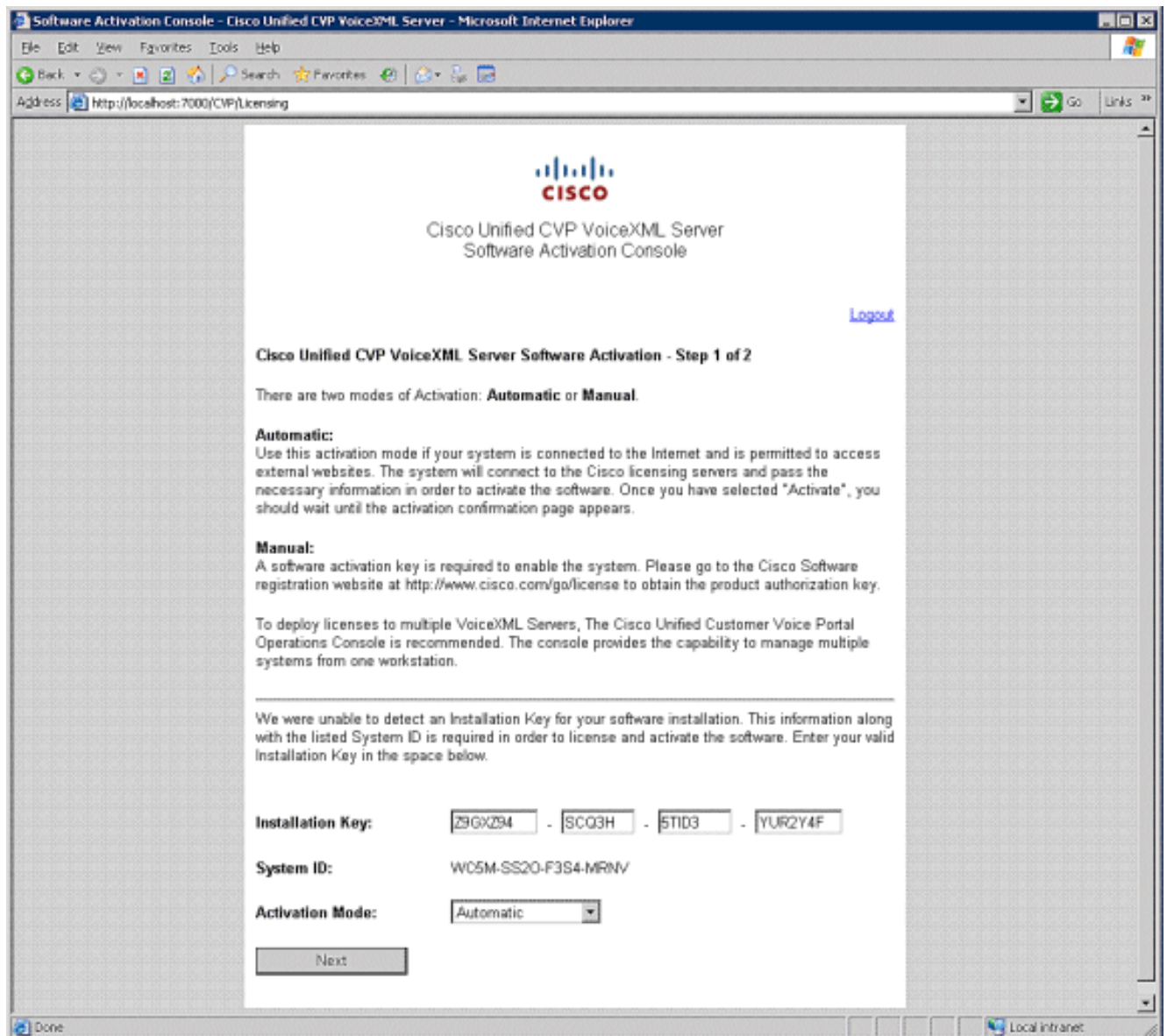


注: デフォルトのユーザ名は `admin` であり、デフォルトパスワードは `パスワード` です。この認証情報は `AUDIUM_HOME/conf` ディレクトリのファイル `login.properties` を通して確認されおよび/または修正することができます。CVP VoiceXML サーバが再起動するときだけ `login.properties` 効果に変更します。

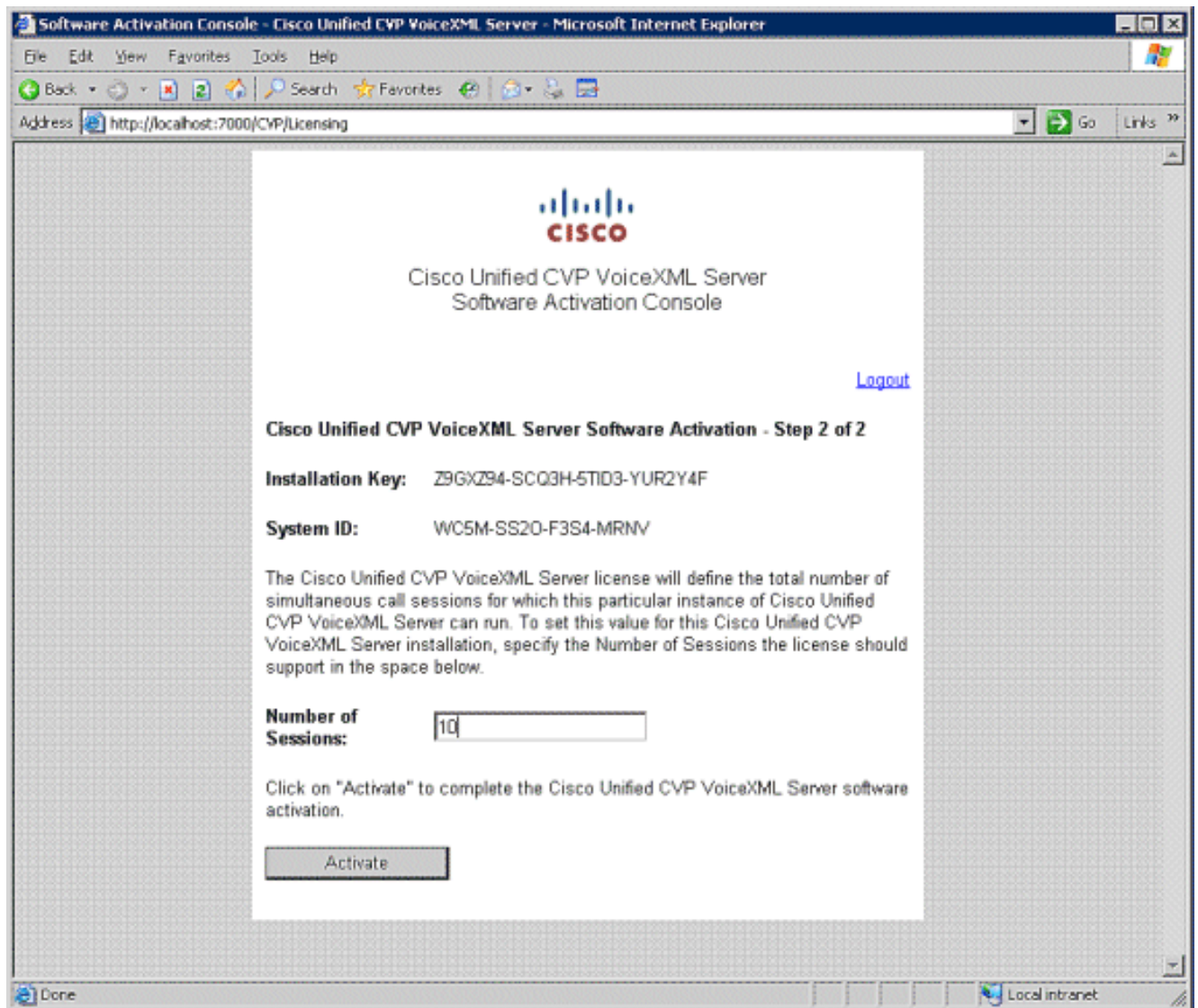
6. 画面上の手順を読み、次に『Next』をクリックして下さい。



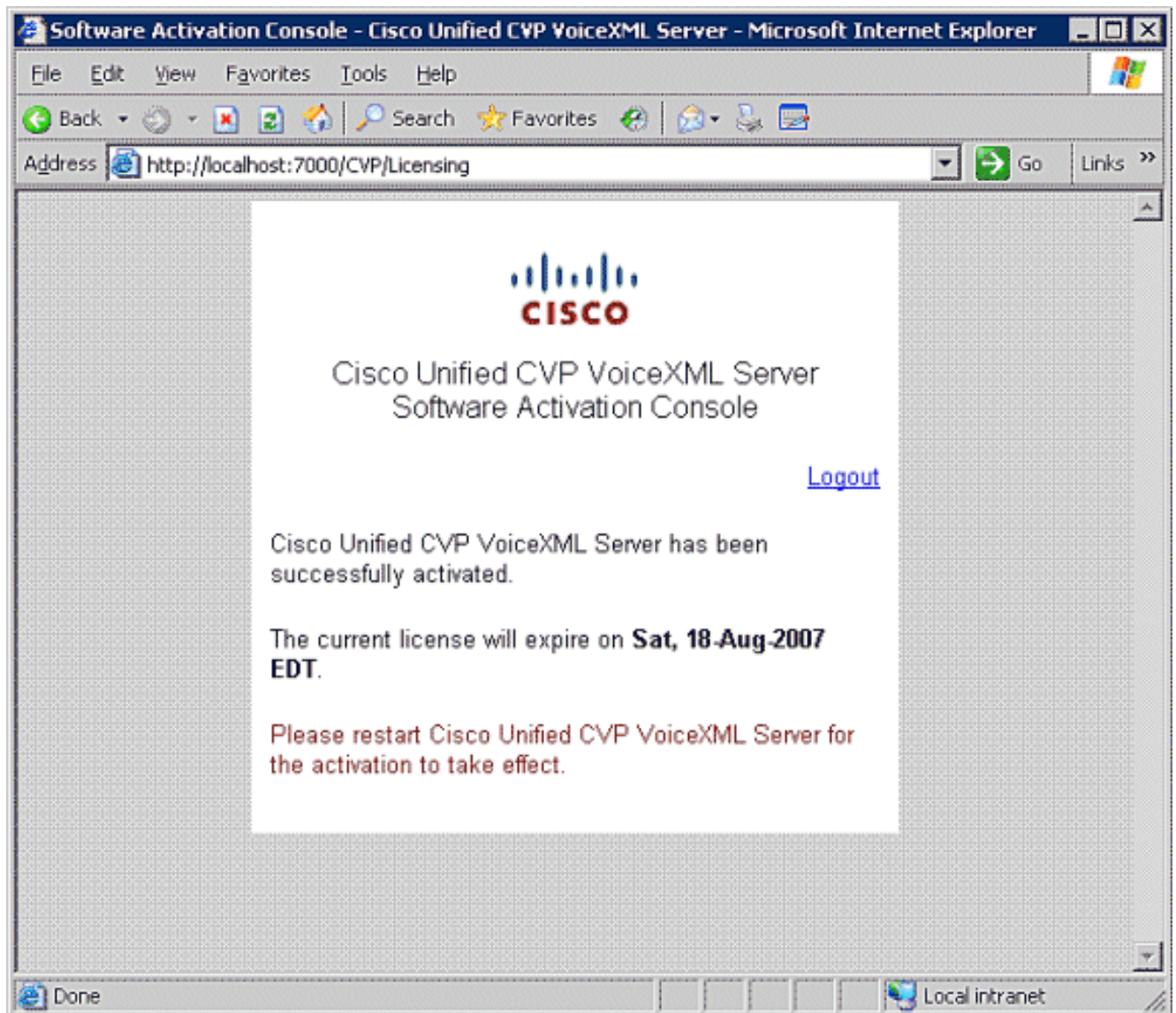
7. 適切なフィールドにインストール キーを貼り付けて下さい。注: 再びタイプすることに対して強くコピー アンド ペーストします、使用するよう勧められます。



8. CVP VoiceXML サーバマシンにインターネット・アクセスがある場合、**アクティベーション Mode ドロップダウン ボックス**から『Automatic』を選択して下さい。さもなければ、『Manual』を選択して下さい。後のオプションは自動アクティベーションがネットワーク接続上の問題、たとえば、ファイアウォールまたはプロキシが原因で失敗する場合また役立ちます。[Next] をクリックします。
9. **自動なら**選択されましたり、これらの手順に従います:この CVP VoiceXML サーバの例がサポートする必要がある同時に行われるセッションの望ましい数を入力して下さい。たとえば、インストール キーは 20 セッションのために発行し 10 セッションが 2 つのサーバのそれぞれで利用されること彼らはそのような物分けることができます。[Activate] をクリックします。

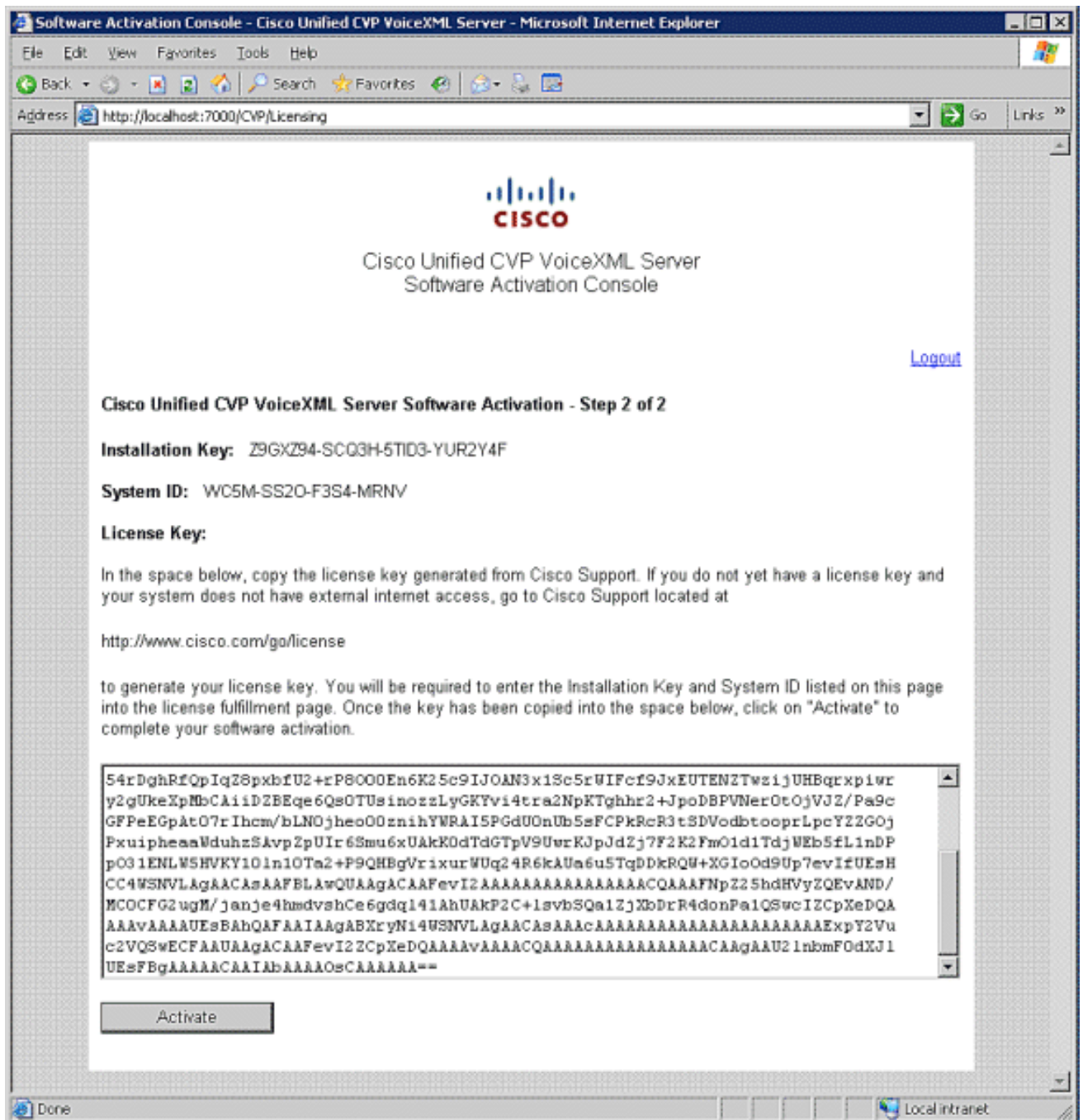


成功メッセージは表示されます。実施される新しいライセンスのための CVP VoiceXML サーバを再起動して下さい。



自動アクティベーションが失敗した場合、手動アクティベーションを（次のステップを参照して下さい）代わりに試みて下さい。

10. **Manual** が選択された場合、これらの手順に従って下さい:[Audium 手動ソフトウェアのアクティベーション](#)を参照して下さい。ドロップダウン製品から **Audium コール サービス 3.6** を選択して下さい。この製品は同じライセンス価格体系を使用します。インストール キーをコピー アンド ペーストすれば CVP VoiceXML サーバソフトウェア アクティベーションからのシステム ID は手動アクティベーション形式にコンソール接続を行います。このサポートする CVP VoiceXML サーバの例が必要がある同時に行われるセッションの数を入力して下さい。**SUBMIT ボタン**をクリックして下さい。Webページの下部ののフィールドのライセンステキスト表示のブロック。ソフトウェアのアクティベーション コンソールの対応したフィールドにライセンス テキストをコピー アンド ペーストして下さい。すべての文字がきちんと選択されるようにするのに **Edit** メニューからの『**All**』を選択オプションがコピー前に使用されていることを推奨します。1文字の違いによりアクティベーションは失敗します。ソフトウェアのアクティベーション コンソールは今これに類似しています
:

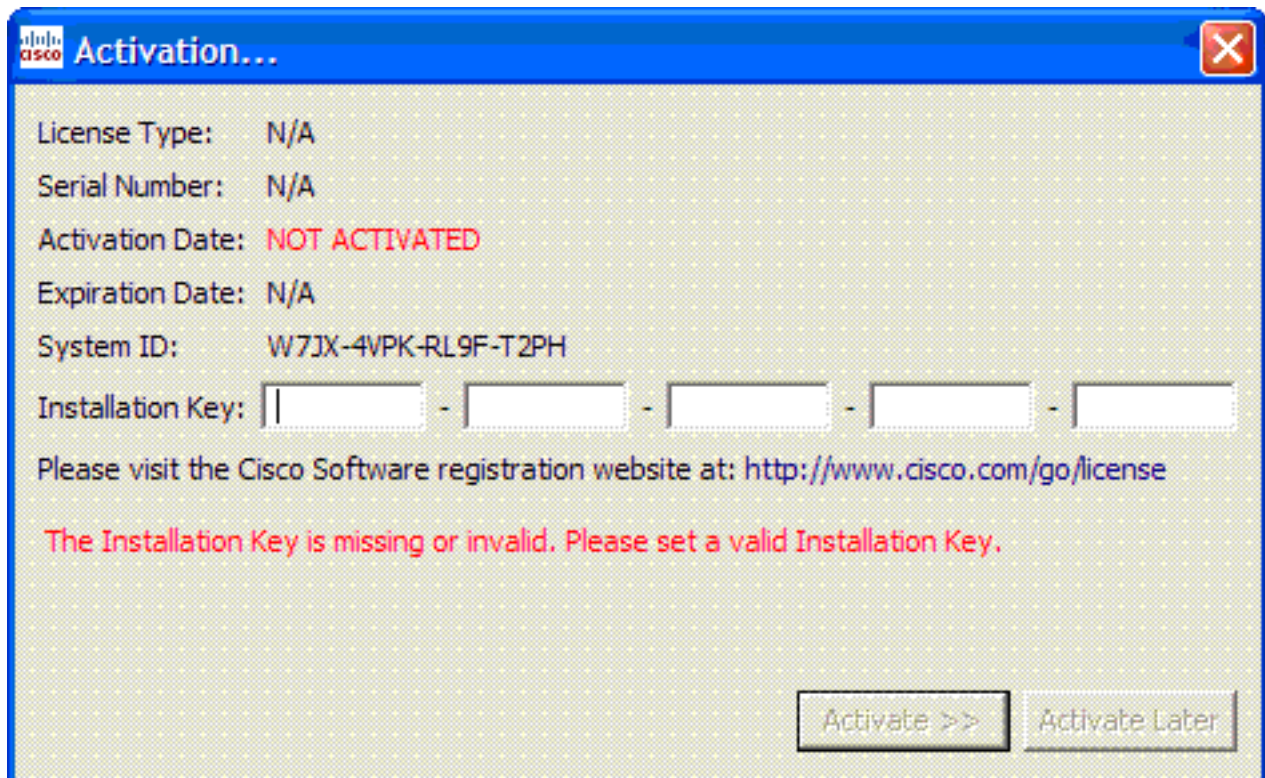


ソフトウェアのアクティベーション コンソールで、『Activate』をクリックして下さい。成功メッセージは表示されます。実施される新しいライセンスのための CVP VoiceXML サーバを再起動して下さい。

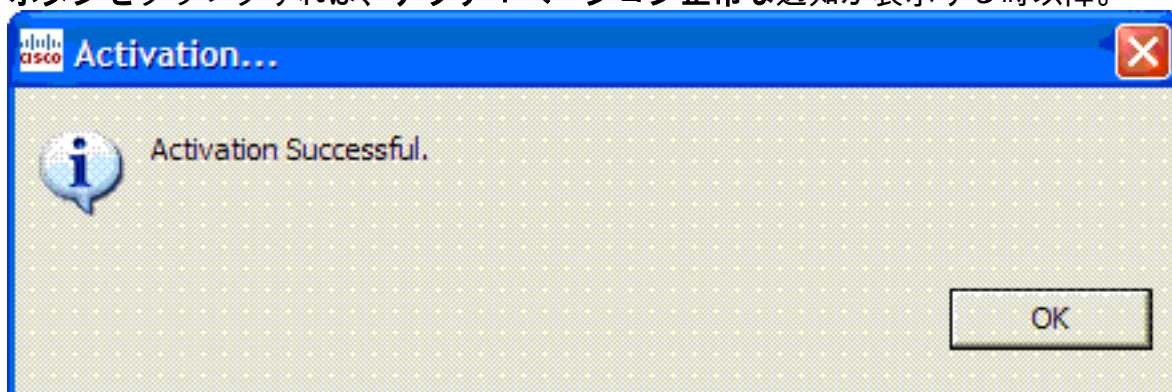
[CVP VoiceXML スタジオに NFR が評価ライセンスを加えて下さい](#)

CVP VoiceXML スタジオに NFR が評価ライセンスを加えるためにこのプロシージャを行って下さい。

1. **Notepad** のようなテキストエディタのライセンス テキストファイルを、開いて下さい。
2. 形式 (5 文字の 5 つのブロック) のインストール キーをコピーして下さい; これは CVP VoiceXML スタジオ インストール キーの形式です。他の形式のキーは他の製品のためです。ライセンス テキストファイルは複数のインストール キーが含まれている場合があることに注目して下さい。
3. CVP VoiceXML スタジオを開始すれば、**アクティベーション...ダイアログ**を表示します。



4. 適切なフィールドにインストール キーを貼り付けて下さい。再びタイプすることに対して強くコピー アンド ペーストします、使用するよう勧められます。
5. アクティブ化 >> ボタンをクリックして下さい。
6. CVP VoiceXML スタジオ マシンにインターネット・アクセスがある場合、オンライン アクティベーション Radio ボタンをクリックして下さい。さもなければ、アクティベーションを『Manual』を選択して下さい。後のオプションはオンライン アクティベーションがネットワーク 接続上の問題、たとえば、ファイアウォールまたはプロキシが理由で失敗した場合また役立ちます。
7. オンライン アクティベーションが選択された場合、これらの手順に従って下さい: Activate ボタンをクリックすれば、アクティベーション正常な通知が表示する時以降。

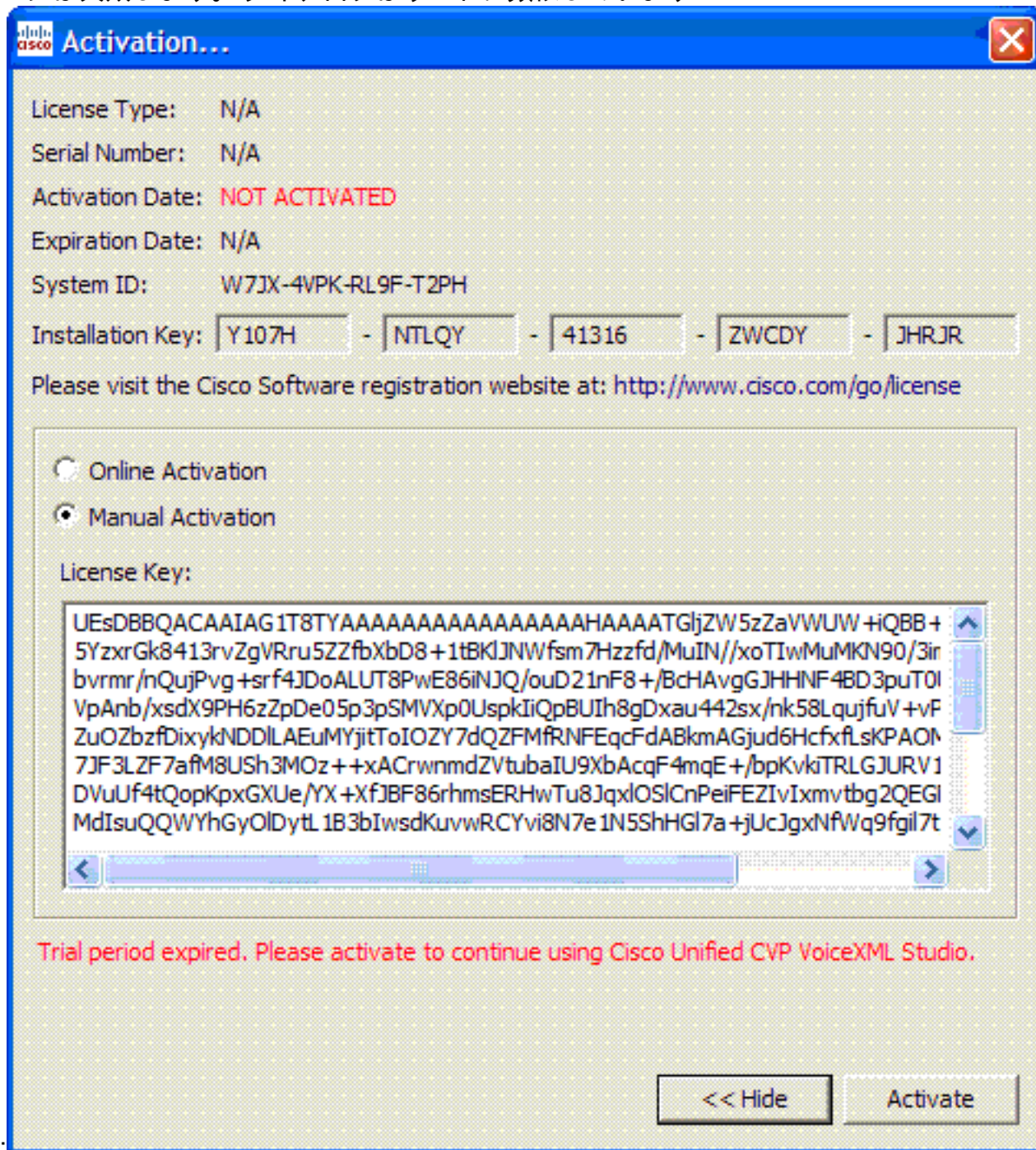


『OK』

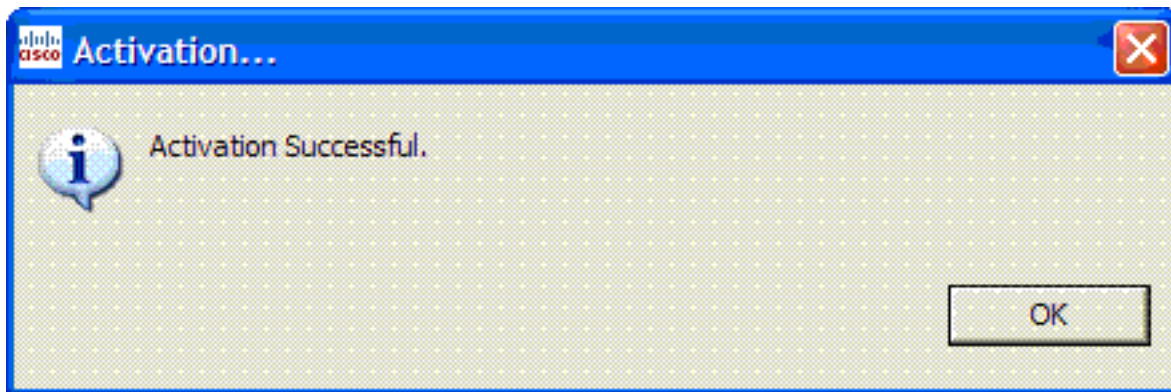
をクリックすれば、CVP VoiceXML スタジオはロードし続けます。それは今認可されます。自動アクティベーションが失敗した場合、手動アクティベーションを (次のステップを参照して下さい) 代わりに試みて下さい。

8. 手動アクティベーションが選択された場合、これらの手順に従って下さい: [Audium 手動ソフトウェアのアクティベーション](#)を参照して下さい。ドロップダウン製品から Audium スタジオ 5 を選択して下さい。この製品は同じライセンス価格体系を使用します。手動アクティベーション形式に CVP VoiceXML スタジオのアクティベーション...ダイアログからのインストール キーおよびシステム ID をコピー アンド ペーストして下さい。注: このデータが丁度コピーされるようにして下さい; 再びタイプすることに対して強くコピー アンド ペーストします、使用するよう勧められます。SUBMIT ボタンをクリックして下さい。Webページ

の下部ののフィールドのライセンス テキスト表示のブロック。アクティベーション...ダイアログの対応したフィールドにライセンス テキストをコピー アンド ペーストして下さい。すべての文字がきちんと選択されるようにするのに Edit メニューからの『All』を選択オプションがコピー前に使用されていることを推奨します。1文字の違いによりアクティベーションは失敗します。ダイアログは今これに類似しています



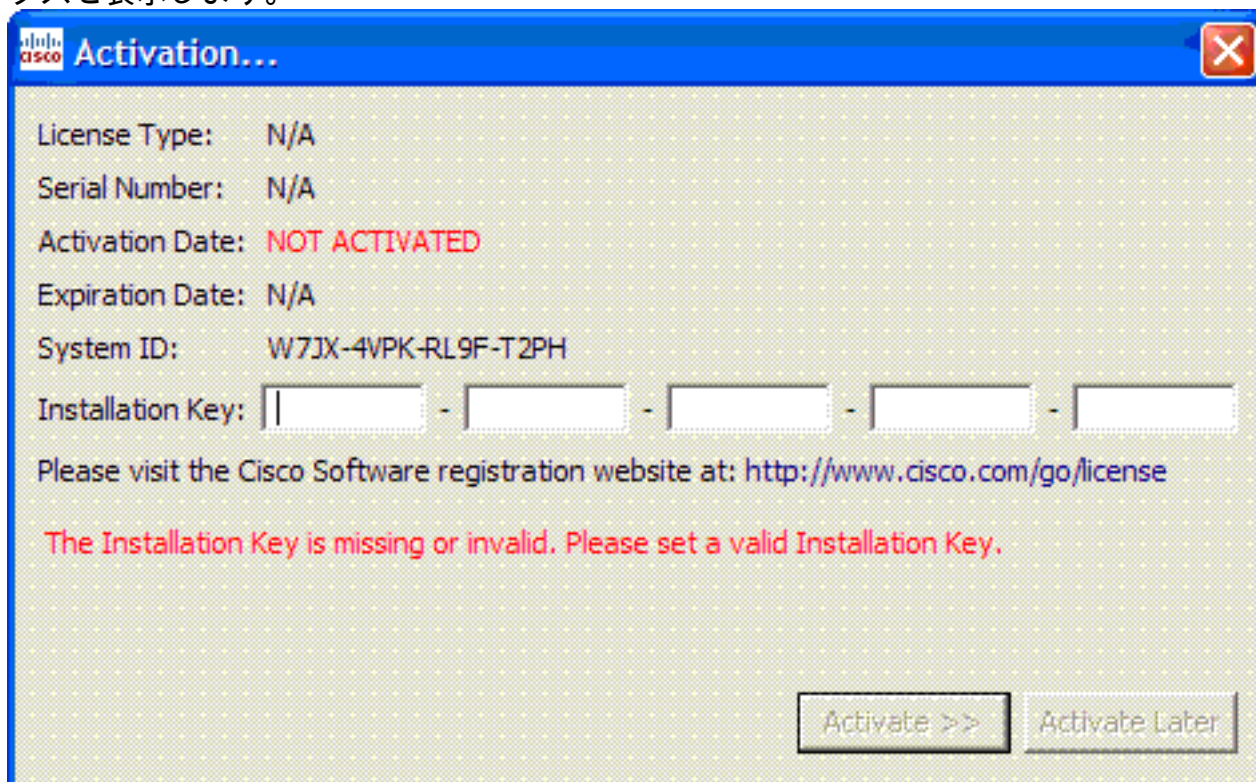
ivate ボタンをクリックすれば、アクティベーション正常な通知が表示する時以降。『OK』をクリックすれば、CVP VoiceXML スタジオはロードし続けます。それは今認可されます



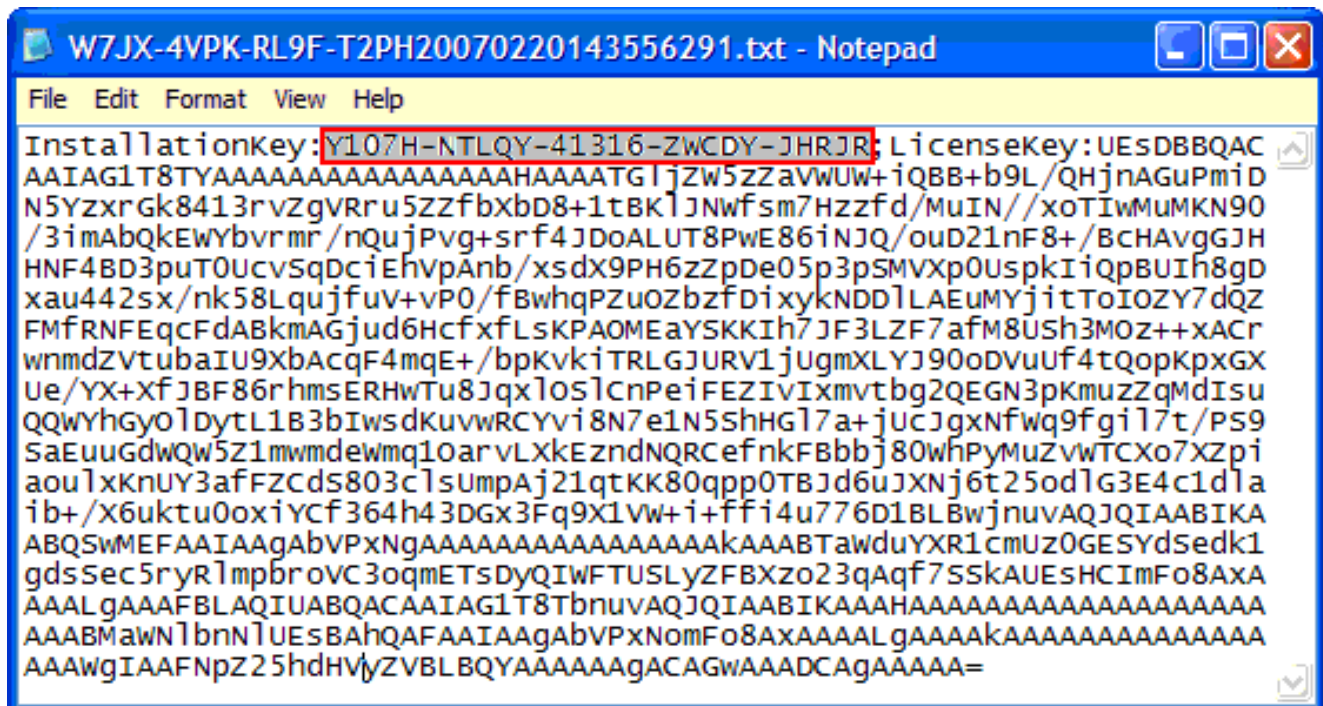
アップグレードされるマシンが CVP VoiceXML スタジオが含まれている場合、ライセンスを加えるためにこれらのステップを実行して下さい:

注: 適用されるライセンスがないのため転売セクション ^{NFR} アクティベーション ステップについては参照して下さい (NFR) または評価ライセンスである場合。

1. CVP VoiceXML スタジオははじめて開始するとき、**アクティベーション...**ダイアログ ボックスを表示します。

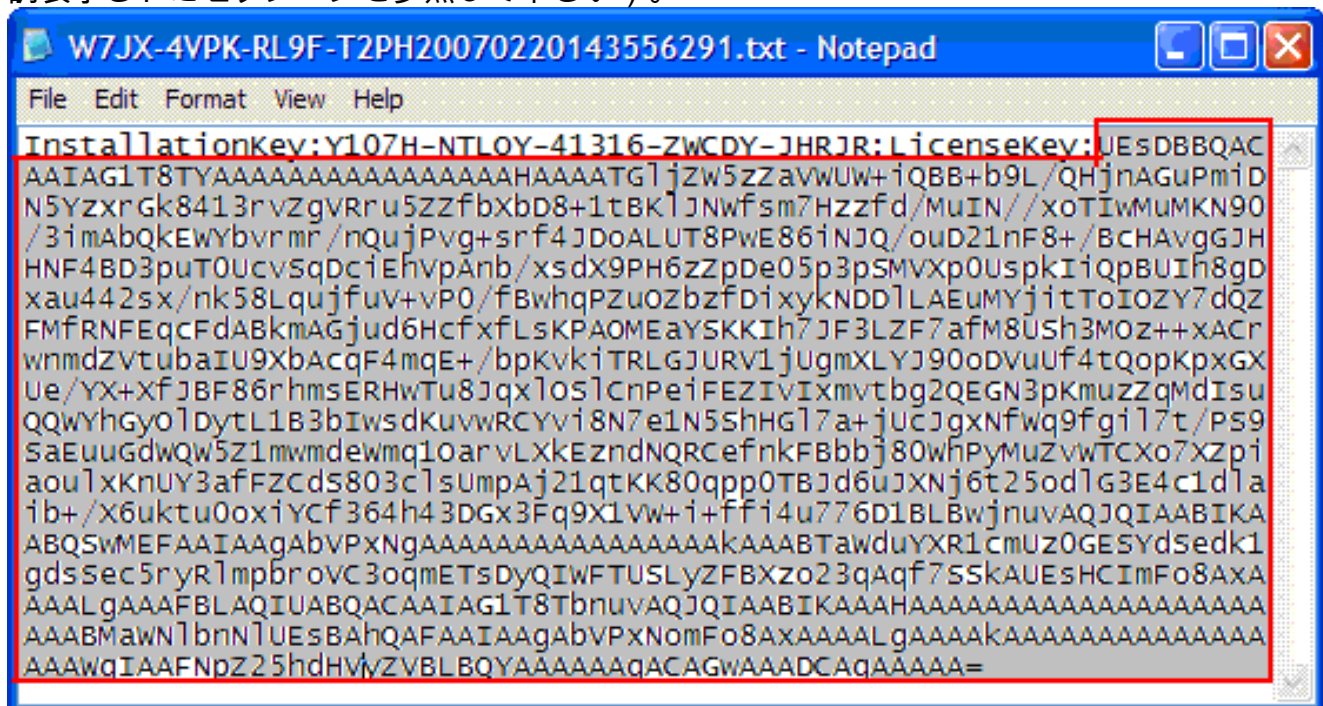


2. このインストールに適用されるライセンス テキストファイルを開いて下さい; もし必要なら、1つを得るために [製品ライセンス登録](#) を参照して下さい。インストール キーはラベル **InstallationKey** の後でこのファイルで、見つけられる最初の情報です: (このイメージの強調表示されたセクションを参照して下さい)。インストール キーが形式 (5 文字の 5 グループ) にあるようにして下さい。他の形式は他の製品のためです。



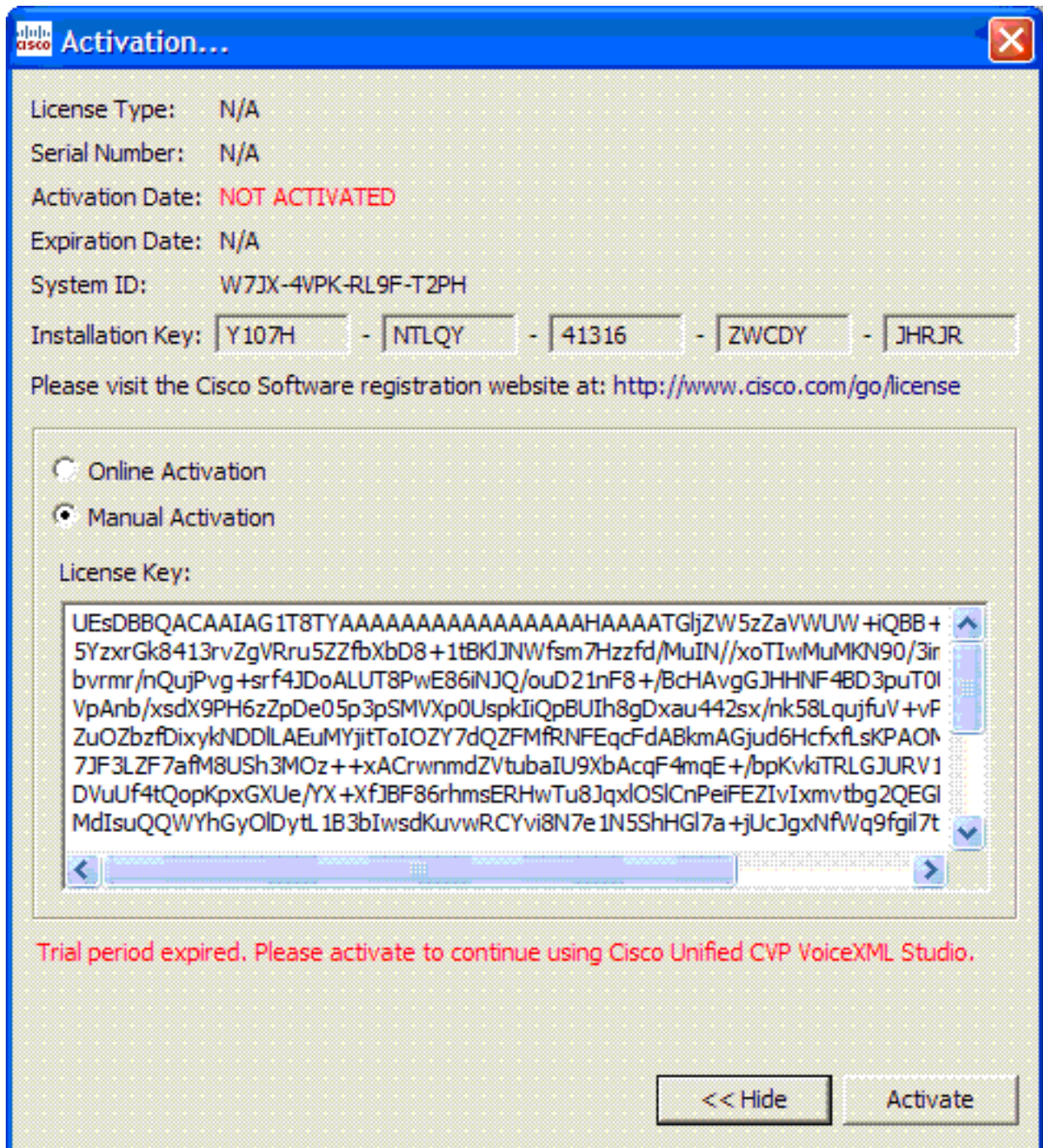
```
W7JX-4VPK-RL9F-T2PH20070220143556291.txt - Notepad
File Edit Format View Help
InstallationKey: Y107H-NTLQY-41316-ZWCDY-JHRJR: LicenseKey: UESDBBQAC
AAIAG1T8TYAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAATG1jZw5ZZavWUw+iQBB+b9L/QHjnAGuPmiD
N5YzxrGk8413rvZgVrru5ZZfbxBd8+1tBK1JNwfsm7Hzzfd/MuIN//xoTIwMuMKN90
/3imAbQkEWybvrmr/nqujPvg+srf4JDoALUT8PWE86iNJQ/ouD21nf8+/BchAVgGJH
HNF4BD3puT0UcvSqdCiEhvpAnb/xsdx9PH6zzpDe05p3pSMVxp0UspkIiqpBUih8gd
xau442sx/nk58Lqujfuv+vP0/fBwhqPzuOzbzfDixyKNDD1LAEuMYjitToIOZY7dQZ
FMFRNFEqcFdABkmAGjud6HcfxfLskPAOMEaYSKKIh7JF3LZF7afM8Ush3MOZ++xAcR
wnmdZvtubaIU9XbAcqF4mqe+/bpkVkiTRLGJURV1jUgmXLYJ90oDvuUf4tQopKpxGX
Ue/YX+XfJBF86rhmsERHwTu8Jqx10s1CnPeiFEZIVIXmvtbg2QEGN3pkmuZZqMdIsu
QQWYhGyo1DytL1B3bIwskuvwRcyvi8N7e1N5SHHG17a+jucJgxNfwq9fgi17t/PS9
SaEuUGdWQw5Z1mwmdeWmq1oarvLXkeZndNQRCEfnkFbbj80whPyMuZvWTCxo7XZpi
aou1xKnUY3afFZCdS803c1sumpAj21qtKK80qpp0TBjd6uJXnj6t25odlG3E4c1dla
ib+/X6uktu0oxiYcf364h43DGx3Fq9X1Vw+i+ffi4u776D1BLBwjnuvAQJQIAABIKa
ABQSWMEFAAIAAgAbVPXNgAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAkAAABTawduYXR1cmUZ0GESYdSedk1
gdsSec5ryR1mpbrOVC3oqmETsDyQIwFTUSLyZFBXzo23qAqf7SSKAUESHCImFo8AXA
AAALgAAAFBLAQIUABQACAAIAG1T8TbnvAQJQIAABIKAAAHAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA
AAABMawN1bnN1UESBAHQAFAAIAAgAbVPXNomFo8AXAAAAALgAAAkAAAAAAAAAAAAAAAAAA
AAAawgIAAFnpZ25hdHVyZVBLBQYAAAAAAGACAGwAAADCAgAAAAA=
```

- 3. ライセンス テキストファイルの情報の他はライセンス キー テキストです。ライセンス キー テキストはラベル **LicenseKey** の後ですべての文字で構成されます: (このイメージの強調表示されたセクションを参照して下さい)。

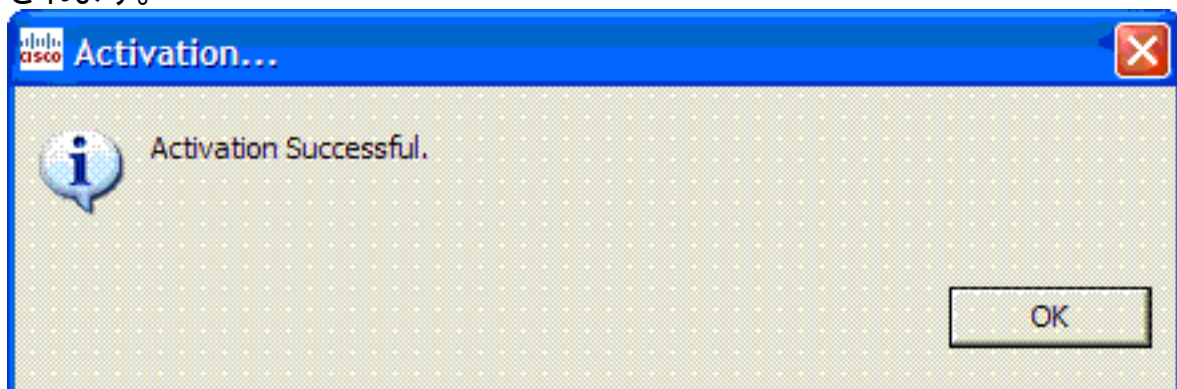


```
W7JX-4VPK-RL9F-T2PH20070220143556291.txt - Notepad
File Edit Format View Help
InstallationKey: Y107H-NTLOY-41316-ZWCDY-JHRJR: LicenseKey: UESDBBQAC
AAIAG1T8TYAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAATG1jZw5ZZavWUw+iQBB+b9L/QHjnAGuPmiD
N5YzxrGk8413rvZgVrru5ZZfbxBd8+1tBK1JNwfsm7Hzzfd/MuIN//xoTIwMuMKN90
/3imAbQkEWybvrmr/nqujPvg+srf4JDoALUT8PWE86iNJQ/ouD21nf8+/BchAVgGJH
HNF4BD3puT0UcvSqdCiEhvpAnb/xsdx9PH6zzpDe05p3pSMVxp0UspkIiqpBUih8gd
xau442sx/nk58Lqujfuv+vP0/fBwhqPzuOzbzfDixyKNDD1LAEuMYjitToIOZY7dQZ
FMFRNFEqcFdABkmAGjud6HcfxfLskPAOMEaYSKKIh7JF3LZF7afM8Ush3MOZ++xAcR
wnmdZvtubaIU9XbAcqF4mqe+/bpkVkiTRLGJURV1jUgmXLYJ90oDvuUf4tQopKpxGX
Ue/YX+XfJBF86rhmsERHwTu8Jqx10s1CnPeiFEZIVIXmvtbg2QEGN3pkmuZZqMdIsu
QQWYhGyo1DytL1B3bIwskuvwRcyvi8N7e1N5SHHG17a+jucJgxNfwq9fgi17t/PS9
SaEuUGdWQw5Z1mwmdeWmq1oarvLXkeZndNQRCEfnkFbbj80whPyMuZvWTCxo7XZpi
aou1xKnUY3afFZCdS803c1sumpAj21qtKK80qpp0TBjd6uJXnj6t25odlG3E4c1dla
ib+/X6uktu0oxiYcf364h43DGx3Fq9X1Vw+i+ffi4u776D1BLBwjnuvAQJQIAABIKa
ABQSWMEFAAIAAgAbVPXNgAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAkAAABTawduYXR1cmUZ0GESYdSedk1
gdsSec5ryR1mpbrOVC3oqmETsDyQIwFTUSLyZFBXzo23qAqf7SSKAUESHCImFo8AXA
AAALgAAAFBLAQIUABQACAAIAG1T8TbnvAQJQIAABIKAAAHAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA
AAABMawN1bnN1UESBAHQAFAAIAAgAbVPXNomFo8AXAAAAALgAAAkAAAAAAAAAAAAAAAAAA
AAAawgIAAFnpZ25hdHVyZVBLBQYAAAAAAGACAGwAAADCAgAAAAA=
```

- 4. インストール キーを入力して下さい (アクティベーション...ダイアログの一致するフィールドへの 2) ステップから。
- 5. アクティブ化 >> ボタンをクリックして下さい。
- 6. 手動アクティベーション Radio ボタンを選択して下さい。
- 7. ライセンス キー テキストを貼り付けて下さい (ライセンス キーへの 3) ステップから: テキスト領域。ダイアログは今このイメージに類似しています。



8. **Activate** ボタンおよび**アクティベーション正常な**通知ディスプレイをクリックして下さい。『OK』をクリックすれば、CVP VoiceXML スタジオはロードし続けます。それは今認可されます。



9. CVP VoiceXML スタジオに以前にエクスポートされたプロジェクトをインポートして下さい。インポート プロセスは CVP 4.0 形式に自動的にそれらを、必要ならばアップグレードします。ワークスペース オプションに**既存の Cisco Unified CVP プロジェクト**を選択するこ

とを忘れないでいて下さい。統一された CVP 4.0 に新しい Subdialog 要素があります。変換の中では、新しい Subdialog 終了要素は自動的に要素の上のハングがもはや必要ではないので Subdialog 端の組み合わせを取り替え、Cisco インポートされた CVP 3.1 プロジェクトでハングアップします。注: アプリケーションが出典 リポジトリからチェックされれば (ファイル システムからインポートされる) よりもむしろ変換プロセスを開始するために、これらのアプリケーションはまだ CVP VoiceXML スタジオ プロジェクトとして再インポートする必要があります。インポートが、各プロジェクトのすべてのファイル修正されたと考えられたおよびリポジトリでアップデートされる必要があつて下さい後さらに、なぜなら最初のチェックイン。

[関連情報](#)

- [Cisco Unified Customer Voice Portal サポート](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)